



市立図書館

## 図書館

新たな図書館  
運営方法の  
検討は小林 友明  
(新政策研究会)

**問** 多様な図書館サービスの質的向上を図るためには、一定数の経験豊かな司書の確保が不可欠である。また、図書館運営経費の節減を図るうえで、図書館業務の外部委託やアウトソーシング、その延長線上での指定管理者制度の導入が検討されるべきと考えるが、市の見解はどうか。

**答** 効率的な図書館運営を推進するため、窓口業務の部分委託や指定管理者制度の導入が多くの自治体で検討されている。しかし、指定管理者制度導入に当たっては、図書館

の教育機関としての位置づけや、利用の無料原則により指定管理者の利益確保が難しいなど、様々な課題もある。他の自治体の先進的な取り組みを注視し、本市の地域性や図書館の規模、利用者のニーズなどと照らし合わせ、慎重に検討していきたい。

## 政治姿勢

市の将来的な  
姿とは栗原 二郎  
(日本共産党)

**問** 経済大国と言われる日本の中で貧困と格差は拡大している。「セーフティネット」、いわゆる市民生活を守る「安全網」を張ることで、安全や安心を提供することができるとも考える。市長の言う「安心・安全、元気で新しい行田」のプロセスとビジョン、そして、それが実現した姿とはどのようなものか。

**答** ハードからソフトへの事業転換を図り、行田らしさや地域の活力を創出する個性あふれる施策、地域特性に合った施策に取り組み、市民の抱える暮らしの不安を解消し、安心して暮らせるまちづくり

を創出していきたい。そのためにも、時代の変革や多様化する行政ニーズに柔軟に対応できる足腰の強い財政基盤の確立を最優先としながら、市民が主役のまちづくりに全力で取組んでいきたい。

## 施設

庁舎等の  
耐震化に  
ついて大久保 忠  
(日本共産党)

**問** 市庁舎耐震補強の当初の計画では平成21年度に耐震設計を実施し、翌年度にはエレベーター設置を含めて工事を行うとされていた。強度や工法の問題で工事が先延ばしとなったが、耐震設計を行う段階で、これらの問題を想定できなかつたのか。

**答** 数ある公共施設の耐震化を、順次、計画的に進めているが、市庁舎の耐震補強工事は、結果として先延ばしをせざるをえなかつた。耐震診断結果に基づき、平成22年度中に補強設計を完了した後、直

ちに補強工事に着手する予定となっている。コミュニティセンターについては、財政状況を検討した結果先送りしたが計画的に実施したい。

## 教育

学校再編の  
見通しは野村 正幸  
(黎明21)

**問** 行田市公立学校再編成計画(案)は複式学級の解消という断片的なもので、抜本的な計画でないことから判断が難しいといった意見を耳にする。これまでの説明会や地域協議会の状況を踏まえ、見通しをどのように捉えているか。また、地域の考えを重視し、状況によっては計画の見直しもあると受け止めてよいのか。

**答** 学校統合については、1学年が4人という極小規模となっている学校もあることから、今後も説明会や協議会を通じ、地域の意見を十分聴いていきたい。また、本計画案は、通学区域等審議会の答申を基に教育委員会の考え方を示したものである。現時点では計画変更の考えはないが、地域

とのコンセンサスを図っていく中で内容を修正することも考えられる。

## 施設

計画的な  
斎場の  
建て替えを田口 英樹  
(新緑会)

**問** 斎場は築後30年を経過し全体的に老朽化が目立ってきている。補修や改装、増築を図ってはきたものの、施設の建て替えの時期に入っているのではないかと。財政状況の厳しさもあり箱物を造らないとする方針は理解できるが、市民が最も強く望む施設であることから、年次計画を立てて、順次取り組んでいくべきと考えるがどうか。

**答** 施設は築後30年が経過しているが斎場の心臓部とも言える火葬炉は、定期的な保守点検と改修を行っていることから長期の使用に耐え得ると考えている。斎場の全体的な建て替えは、多大な財政負担を伴うことから難しいが、火葬棟を除く式場棟などの施設については、利用者の使い勝手なども考慮した改修や政策を計画的に実施していきたい。